

食品による健康被害の発生状況

群馬県の過去10年間（平成14年～平成23年）の食中毒発生状況をみると、事件数は年間9～25件の幅で、患者数は年間約260～740人の幅で推移しています。また、食中毒による死者は発生していません。

全国の過去10年間（同）の食中毒発生状況をみると、事件数は年間約1,000～2,000件の幅で、患者数は年間約20,000～40,000人の幅で推移しています。また、食中毒による死者数は平成14年の18人、平成23年の11人のほかは毎年10人未満で推移しています（平成21年及び22年は死者の発生はありませんでした。）。



食中毒の発生状況

平成23年の群馬県における食中毒発生状況は、13件の食中毒が発生し、患者数は632人でした。平成22年と比べると発生件数は3件の増、患者数は368人の増となっています。

発生件数をみると、ノロウイルス及びカンピロバクターによるものが各5件で最も多く、この二つで全体の約77%を占め、次いで、サルモネラ属菌によるものが2件となっています。

また、患者数ではサルモネラ属菌によるものが388人で最も多く、全体の約61%を占めました。

平成23年食中毒発生状況

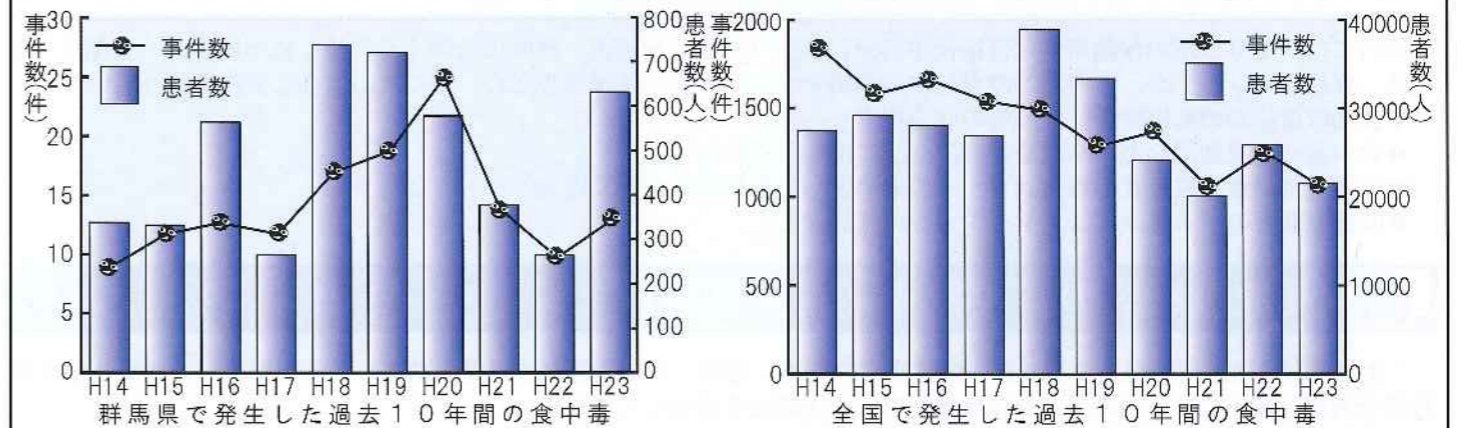
No.	発生月	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	行政措置の内容
1	2	364	もやしのナムル	サルモネラ・エンテリティディス	学校給食センター(吉岡町)	業務停止(3日間)
2	3	6	不明(施設で提供された会食料理)	カンピロバクター・コリ	飲食店営業(館林市)	営業停止(3日間)
3	4	75	巻き寿司(推定)	ノロウイルス G2	飲食店営業(前橋市)	営業停止(3日間)
4	5	11	不明(施設で提供された料理)	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店営業(前橋市)	営業停止(3日間)
5	6	5	生かき(推定)	ノロウイルス G1、G2	飲食店営業(高崎市)	営業停止(3日間)
6	7	24	不明(施設で提供された仕出し弁当)	サルモネラ・モンテペデオ	飲食店営業(高崎市)	営業停止(3日間)
7	7	10	会食料理	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店営業(安中市)	営業停止(3日間)
8	7	4	鶏レバーを含む鶏もつ焼き	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店営業(高崎市)	営業停止(3日間)
9	8	9	不明(施設で提供された料理)	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店営業(前橋市)	営業停止(3日間)
10	9	2	キノコ汁、キノコうどん	植物性自然毒(毒キノコ:種類不明)	家庭(富岡市)	注意指導
11	11	59	不明(施設で提供された食事)	ノロウイルス G2	給食施設(渋川市)	営業停止(3日間)
12	12	13	会食料理	ノロウイルス G2	飲食店営業(沼田市)	営業停止(3日間)
13	12	50	不明(施設で提供された料理)	ノロウイルス G2	飲食店営業(前橋市)	営業停止(5日間)

計13件 患者数632人 死者数0人（前橋市、高崎市を含む）

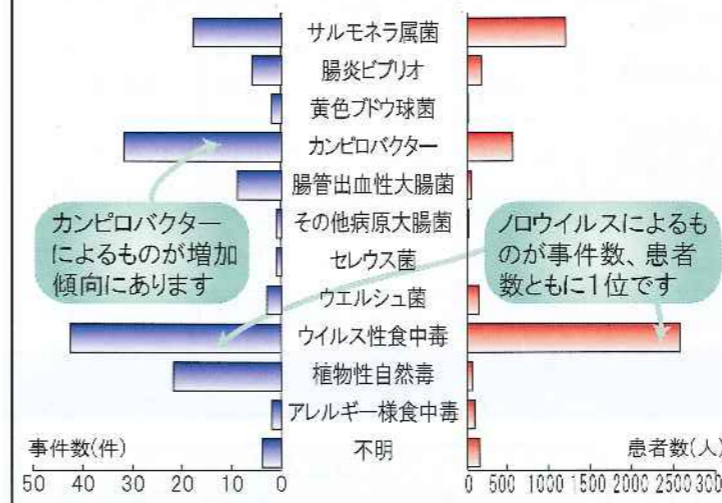
食中毒の分類



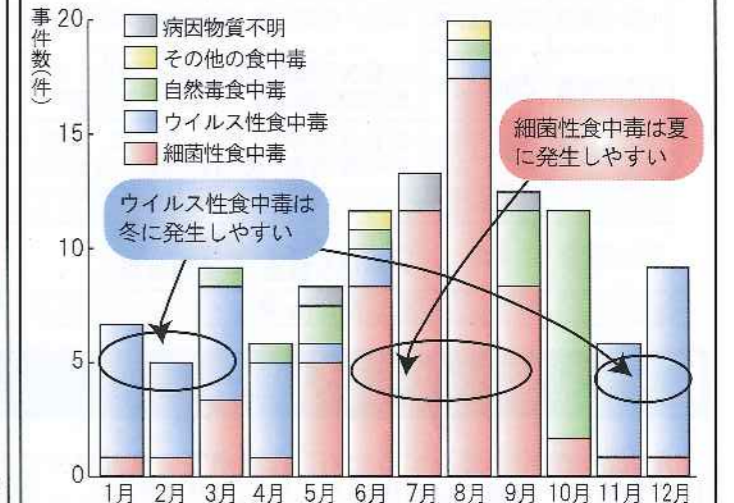
食中毒発生状況の推移



食中毒の原因別発生状況(県内平成14～23年)



食中毒の月別病因物質別発生状況(県内平成14～23年)



ノロウイルスによる食中毒

ここ数年、全国的にノロウイルスによる感染症や食中毒の発生が増加しています。H18年度以降、県内で発生した食中毒の発生件数、患者数ともに、ノロウイルスによるものが最も多くなっています。

ノロウイルスの特徴

- 低温で長期間生存
- 加熱に弱い(85度1分以上で死滅)
- わずかなウイルス量で感染
- 繰り返し感染
- 人の腸管で増殖し、ふん便やおう吐物に大量に排出
- 発症者は症状が治まった後も、長期間ウイルスを排出
- アルコール消毒は無効(塩素消毒は有効)

